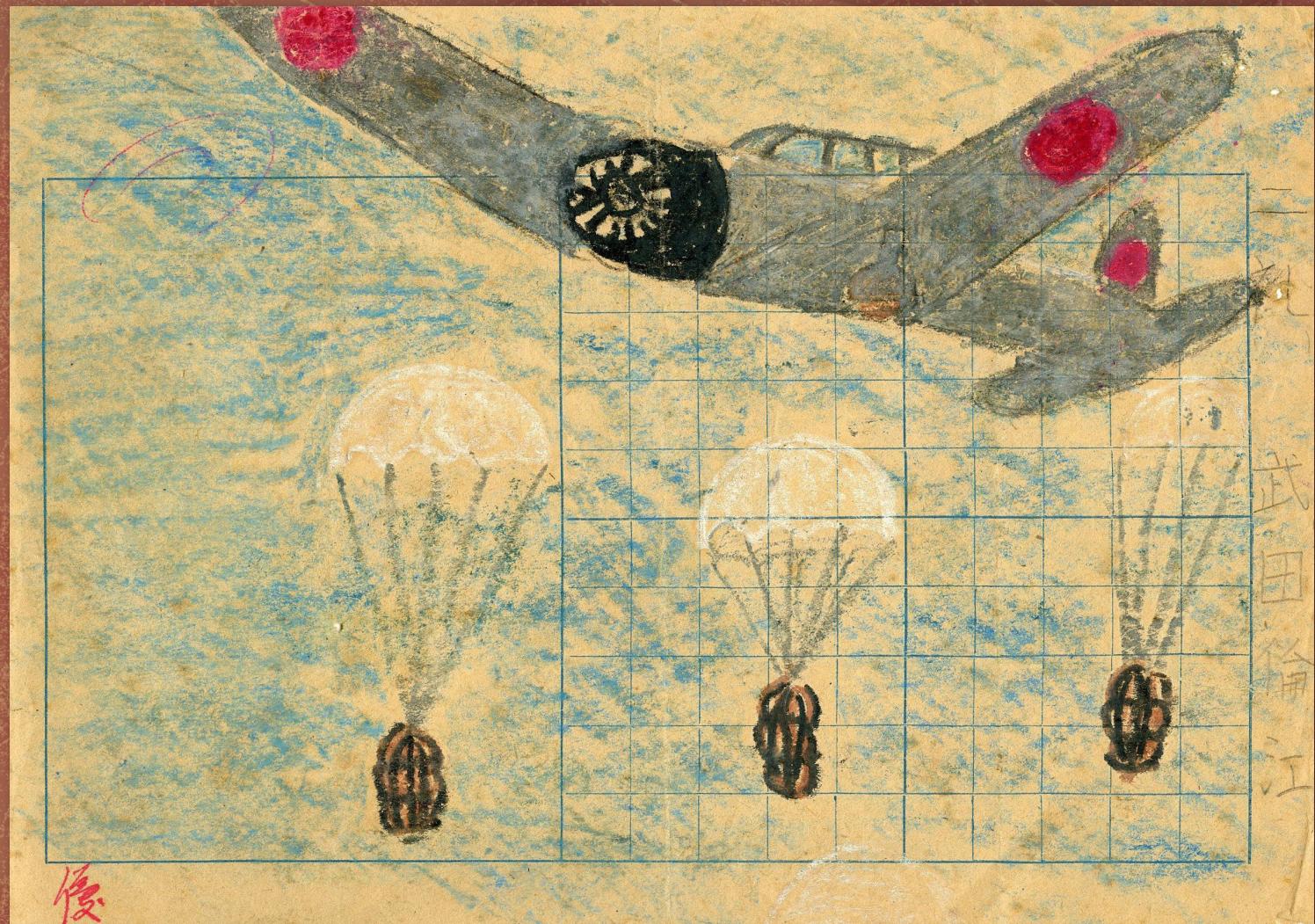


滋賀県平和祈念館 第38回企画展示

戦争を描く



戦時に児童が描いた絵(武田 倫江さん 提供)

令和8年(2026年)

1月7日水 - 6月21日日 〈入館無料〉

開館時間／午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで)

休館日／月・火曜日(祝日にあたる場合は開館)

※その他業務の都合により休館する場合があります。

駐車場／約50台(無料)

詳しくはホームページをご覧ください。

滋賀県平和祈念館

検索



滋賀県平和祈念館 第38回企画展示 戦争を描く

日中戦争・太平洋戦争当時、軍部が戦地に派遣した従軍画家以外にも、様々な人たちが戦争に関する絵画を描いています。当館の収蔵品の中にも、兵士が戦場の様子を描いた画帳のほか、内地で生活する子どもたちが戦場の様子を想像して描いた絵などがあります。

一方、戦後に戦争当時の様子を絵画に描き、戦争の記憶を語り継ごうとする様々な取組が行われています。

今回の企画展示では、昭和19～20年に滋賀県東近江市へ学童疎開していたイラストレーターの成瀬國晴さんが疎開当時を描いたイラストのほか、滋賀県平和祈念館が長年にわたって収集してきた様々な資料や体験談を展示することにより、滋賀県民をはじめとする人々の戦争についての思いを紹介します。

ビルマのアーロン収容所で日本兵が描いたスケッチ(個人提供)



戦死した兵士が出征前に使っていた油絵の道具(吉田 亀治郎さん 提供)



兵士の慰問のために贈られた絵(個人提供)



昭和20年7月の米軍機墜落を描いたイラスト(成瀬 國晴さん 提供)

関連行事
令和8年
1月18日(日)

学芸員による企画展示説明会／13:30～

予約不要
参加無料

地域交流室展示「沖縄戦と子どもたち」の展示説明会／14:30～

平和祈念館からのお願い

■ 体験談の聞き取り調査・資料寄贈にご協力ください

国内外で戦争を体験された方からの体験談を募集しています。調査員がうかがってお話を聞きします。また、戦争に関わる資料(戦没された方の遺品、戦時中に使っておられた品物、当時の写真・書類など)の寄贈を受付しています。資料の背景や当時使っておられた方の軍歴または体験談をお聞きします。対象は現在、滋賀県にお住まいの方、または滋賀県に関係した戦争・戦時中の生活についての情報をお持ちの方です。

■ ボランティアの募集

戦争の悲惨さや平和の尊さを伝えるさまざまな活動のボランティアを募集しています。

■ 滋賀応援寄附のお願い

いただいたご寄附は、平和への想いを次世代へつないでいくための事業に活用します。

詳しくは「滋賀県平和祈念館」までお問い合わせください

TEL / 0749-46-0300 FAX / 0749-46-0350
E-mail / heiwa@pref.shiga.lg.jp

交通アクセス



■JR琵琶湖線(東海道線)彦根駅または近江八幡駅乗り換る

近江鉄道八日市駅からバスで約20分「愛東支所・診療所前」下車すぐ

■名神高速道路「八日市IC」から車で約10分《駐車場／約50台(無料)》